

第3学年 総合的な学習の時間指導案

1. 単元名 A地域 技名人に 弟子入りし隊！

2. こんな子どもだから

本学級の子どもたちは、1学期の総合的な学習に、「校区の自慢はこれだ！」の単元において、今まで自分が遊んだりする中での自慢の場所だけでなく、家の人たちにとっての自慢の場所もあることに気付き、知らない場所を意欲的に調べてきた。訪問先にどんなものがあるか、訪問先でどんなことを尋ねるかを考え、インタビューし、わかったことを伝えるために写真をとるなど意欲的に取り組んできた。

場所の自慢の証拠が見つかるよう、お店の方へのインタビュー内容も「自慢につながるかどうか」を規準に考え決定した。また家の人に発表する内容も自慢の証拠を組み合わせながら考えることができた。しかし、地域の人達のよさにはまだ目が向いていない。

インタビューの仕方も事前に練習したりグループ対話を経験する中で聞く相手に調べた内容が伝わるよう考えて話すことも学んできた。しかし、かわりを持った場所を複数回訪問するまでにはいたっておらず、人とのかわりも薄いためお店の方の思いや願いにまで追究の深まりが見られなかった。

1学期の学習では場所・物が対象であり、調べた所の人にも関心をもつまでにはいたっておらず、人の生き方に感動したという経験までには至っていない。

3. こんな教材で

この単元は、1学期の自慢の場所探しから自慢の人探しをしていく単元である。

出会う段階では、地域の「人」アンケートをとり、校区には祭などで技を披露するなど、技を教えたりしているすごい人（名人）がいることをとらえさせる。次に、個人で名人を探す活動を行い、どのような名人がいるのか公民館に尋ねに行くなどして人材を発掘させる。見つけてきた名人を、子どもの希望と目指す子どもの姿と照らし合わせ吟味し、その中から自分の弟子入りしたい名人を決める。

追究段階では、技の習得、技の知識、また名人の願いや工夫をインタビューや協同体験、グループ交流を通してとらえさせたい。また、簡単にできたという喜びではなく、難しい技や物を、名人とかわる中で身につけることができたという達成感・成就感を味わわせたい。伝える段階では、名人から学んだ人のために頑張るといふ思いを大切にしたい発表会を行い、人にも喜んでもらうことのすばらしさを実感させ、地域に対する貢献意識を高めていきたい。また、グループで名人をパンフレットに表し、まとめて「A地域名人ブック」にまとめ、お世話になった名人や公民館に持っていく活動を設定したい。

この学習を通して、今までの地域に対する見方が変わり、地域に愛着を持ち、地域にかかわっていきこうという子どもが育つと考える。

4. こんな支援で

【めざす子どもの姿の実現に向けた地域人材の開発】
地域のための活動をしておられる人
繰り返し喜んでかかわっていただける人
達成感・成就感を得られる制作物や技を工夫してくださる人

【地域人材との効果的なかわらせ方】
練習日程・練習計画の提示
少人数グループでの3回の交流（インタビュー・協同体験）の設定。
（1回目）わくわく・ときどき交流
（2回目）なぜなぜ・なるほど交流
（3回目）できたよ・わかった交流
インタビューの観点の明確化
・技に対する知識 ・名人の願いや工夫
同質グループ間交流の設定
異質グループ間交流の設定

【学びの過程での子どもの気付きや成長の確かな評価と支援】
名人や技に対する見方、考え方の広がり
をみるイメージマップの作成
追究の振り返りを行えるポートフォリオの作成。
教師は個々人の活動状況を把握しながらポートフォリオを見ながら支援を行っていく。

5. こんな子どもに（目指す子どもの姿・・4観点）

意欲的に人とかわり、あきらめずに技の習得、物の製作に取り組む中で、名人の思いや願いを知り、自分も人に喜んでほしいという意欲をもつことができる。【意欲・関心・態度】

名人のすごいところや技の知識、名人の願いや工夫をとらえ、地域・名人・技に対する見方、考え方を深めることができる。【思考・判断】

教科等で身に付けた表現力を生かし、筋道立てて、中心に気を付けながらインタビューや話し合いができる。【コミュニケーション能力】

物事に対してあきらめず努力や工夫を行うことや、人にも教え喜びを共有する大切さを生活の中で生かすことができる。【自己の生き方】

6. 指導計画 (37時間)

段階	配時	学習活動と内容	主な支援	評価活動【評価項目】
出 会 う 4		1. A地域の「人アンケート」をとる。 (3年全体) ・地域に技名人がいるんだな。	・事前に、目指す子どもの姿に沿った名人を探しておく。(夏休み中)	・調べていこうという意欲をもつことができる。 【意欲・関心・態度】
		2. 名人をさがす。(個人宿題) (予想) 尋ねる・家の人, 公民館, 校長先生, 4年生 パソコンで調べる		
追 究 す る 22		3. 探してきた技名人を紹介しあう。 昔の遊び・スポーツ など	・板書の中で種類ごとに整理していく。	
		4. 名人を決め, 課題を明確にする。		
<p>全体での課題を確認する。 地域のわざ名人に弟子入りしよう。 課題 名人のわざを習う。 名人のわざを調べる。 名人の願いや工夫を知る。</p>				
追 究 す る 22		5. グループに分かれ調べる計画を立てる。 ・名人・技イメージマップを作る ・インタビュー内容を決める インタビュー観点 ・技, 物の内容 ・名人の願いについて	・名人には事前に主旨を説明しておく。 ・最終的に発表会を行うことを伝える。	
		<p>・依頼状を書く ・あいさつ練習</p> <p>グループ・個人課題(例) 課題 名人の技を習う : 技を上手になる。 課題 名人の技を調べる : どんな技があるかを聞いたりして調べる。 課題 名人の願い・工夫を知る : どんな気持ちでどんな工夫をしているかを知る。</p>		
本 時		6.(協同活動)	<ul style="list-style-type: none"> ・話の聞き方の指導 ・メモを持たせる。 ・必ずインタビュータイムを体験の前に設ける。 ・技の上達のみにとらわれないよう, 名人の技や願いをとらえようとしているかを把握し助言する。 ・他グループと交流することで調べた技知識や願いの視点の違いをとらえさせる。 ・名人の願いと関連したインタビュー内容を考えさせる ・名人の工夫に目をつけてインタビューするよう助言する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・インタビューし名人の技や気持ちや技の知識を得ることができる 【思考・判断】 ・名人と進んでかわり技を習得できる。 【意欲・関心・態度】 グループ内交流 ・自分が見つけた名人の技や願いを話したり友達の話聞き取ることができる。 【コミュニケーション】 グループ外交流 ・自分の感じたことと友達の感じたことを比べながら聞くことができる。 【思考・判断】 ・人に喜んでもらえることが活動のエネルギーになっていることを知ることができる。 【思考・判断】
		(1回目) わくわく・どきどき交流		
		インタビュータイム : 習得タイム		
		(観点) : (観点) ・技の知識・名人の願い : 技の習得		
		グループ内交流		
		・イメージマップ作成 ・練習計画作成 ・練習		
		グループ外交流		
		(観点)・イメージマップもとに紹介		
		(2回目) なぜなぜ・なるほど交流		
		インタビュータイム : 習得タイム		
		(観点) : (観点) ・技の知識・名人の願い : 技の習得		
		グループ内交流		
・イメージマップ作成 ・練習計画作成 ・練習				
グループ外交流				
(観点)・イメージマップもとに技や名人の気持ち, 願いの確認				
(3回目) できたよ・わかった交流				
インタビュータイム : 習得タイム				
(観点) : (観点) ・技の知識・名人の願い : 技の習得 ・名人の工夫 : 作品完成				
グループ内交流				
・イメージマップ作成				

	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの自分を振り返る。 <p>9．完成していないところを完成させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今までの自分の成長をポートフォリオ等を振り返ることで確認する。 ・わからないところは名人に相談する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・あきらめないで最後までやり通すことができる。 <p>【意欲・関心・態度】</p>
伝える 11	<p>10．発表会に向けた工夫を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各グループ考えた工夫を発表する。 (演技の仕方・展示の仕方) <p>11．発表会にむけ準備を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分からないことは名人に電話等で尋ねる。 ・技や作り方等をまとめる。 <p>12．来ていただいた方に喜んでもらうための発表会を行う。</p> <p>13．A地域名人ブックを作成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブックの内容を決める。 ・名人に持っていく。 <p>14．学習を終えての感想を書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今までの体験を振り返らせる。 ・名人,保護者を招待する。 ・子ども名人認定証を名人から渡していただく。 ・見つけた技についての知識や名人の願いを振り返らせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人に喜んでもらえるために自分に必要な努力点や工夫点を考えることができる。 ・喜んでもらうために工夫している。 ・みんなと一緒に楽しみ喜んでもらっている。 ・ポートフォリオの内容をもとに作成している。 <p>【思考・判断】</p> <p>【思考・判断】</p> <p>【意欲・関心・態度】</p> <p>【思考・判断】</p>

7. 本 時 (19・20 / 37)

平成20年10月23日(木) 2:15 ~ 3:45 (90分)

2:15 ~ : 教室でめあての確認

2:20 ~ 2:35 : インタビュータイム

2:35 ~ 3:30 : 体験タイム

3:35 ~ 3:45 : 3の〇教室で自己評価と発表

- ・竹細工(図工室) ・わら細工(職員室前外) ・紙クラフトA(図工室)
- ・紙クラフトB(図工室) ・太鼓(音楽室) ・手品(教室)
- ・皿回し(花っこルーム)

8. 本時の目標

【思考・判断】

新たな疑問をインタビューしたり,協同活動を行うことを通して,技に対する知識や名人の願い,工夫点を理解することができる。

【コミュニケーション能力】

話の中心に気をつけて話したり,名人の話をしっかり聞き取ることができる。

【自己の生き方】

あきらめずに取り組むことで,「自分にもできた」「喜んでもらった」という達成感や成就感を味わうことができる。

9. 本時の仮説

名人の願いや技,工夫について理解を深める「インタビュータイム」と,名人の技を体得する「協同体験」を小グループで行うことで,名人と子どもとの距離が近く双方向の対話が可能となり,「技」や「名人」に対する見方・考え方がより深まっていくと考える。

終了後に,自分の成長や課題を振り返る自己評価や工夫できたことの振り返りを行うことで,成就感,達成感を味わうことができ,名人に対する思いの変容を意識することができると思う。

10. 本時指導の考え方

前時までに子どもたちは、自分の追究していく技を決め、名人との出会いを2度経験している。2度の交流で、名人にインタビューをしたり、体験させていただいたりする中で、名人を身近にとらえることができている。

名人と交流した後は、自己評価として「できるようになったこと」「まだできないこと」「がんばること」を振り返らせてきている。またグループ内で「名人の願い」「技」のイメージマップを作成してきた。そして、名人との次の交流までに、何をどのように練習するのか計画を立て、質問内容を考えてきた。グループで技の習得に取り組む姿が見られている。

本時では、それぞれの名人をお呼びして3回目の交流を行う。(太鼓グループは練習を行う。)この交流も今まで同様、インタビュータイムを設けた後に体験活動を行う。

まず、今日のめあてを「自分の技や作品をじょうずに完成させよう」とし、上手に完成させることで、人にも喜んでもらえることを伝えたい。上手にできるための工夫点や気をつけることを知るために、インタビューや体験を行うことを確認したい。

前時までに竹細工・手品グループは、名人の「人に喜んでもらう」という気持ちをまだ聞き出すことができていない。そのため、インタビュータイムで聞き出せるように支援していきたい。また、それ以外のグループは、人に喜んでもらえる技や作品を完成させるためにどんな工夫をしているかなどを質問させていきたい。今回の体験は「できたよ・わかった交流」と位置づけている。作品や技ができた喜びを味わったり、よりよい作り方等が理解できることを通して達成感や成就感を味わうことができると考える。

11. 準備

(児童) ポートフォリオ ・ 必要な道具 (教師) 自己評価プリント

12. 展開 (90分)

学 習 活 動	支援と評価									
<p>1. 自分の今日の課題を確認する。(5分) めあて</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 自分の作品や技をじょうずにかんせいさせよう。 </div>	<p>今の気持ちを確認し、名人の気持ちと比較し、名人に近づいていることを確認する。 「上手に」というからイメージをふくらませ、「周りの人も喜んでくれること」と関係することを考えさせる。 人に喜んでもらうためには工夫したり気をつけたりする点があることを伝える。 90分の時間配分を伝える。</p>									
<p>2. インタビューする。(15分)・・・教室</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 技に対する知識を得る。 名人の願いを知る。 工夫していることを知る。 </div> <p style="text-align: center;">終わったグループから移動</p>	<p>効率よく会話が進んでいるかを把握し助言を行う。 グループで協力し進んで質問でき、名人から答えを引き出すことができる。</p>									
<p>3. 活動場所に移動し協同活動を行う。(50分)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 名人と双方向の対話で技の習得・作品完成 </div> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> わら細工 (7名) </td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 太鼓 (2名) </td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 竹細工 (5名) </td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 紙クラフトA (3名) </td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 紙クラフトB (3名) </td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 手品 (5名) </td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 皿回し (6名) </td> <td colspan="2"></td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">時間になり次第教室へ移動</p>	わら細工 (7名)	太鼓 (2名)	竹細工 (5名)	紙クラフトA (3名)	紙クラフトB (3名)	手品 (5名)	皿回し (6名)			<p>【コミュニケーション能力】 自分の課題をあきらめず解決しようと、名人からアドバイスをもらったり、自分で工夫し頑張る習得・完成することができる。</p> <p>【意欲・関心・態度】 集中力がとぎれてきたら励ましの言葉かけを行う。 グループ毎に遅れがちな子どもを把握しておき声をかける。 名人、技に対する広い見方、考え方を持つことができる。【思考・判断】 名人と工夫や気をつけることを考え画用紙に記録する。</p>
わら細工 (7名)	太鼓 (2名)	竹細工 (5名)								
紙クラフトA (3名)	紙クラフトB (3名)	手品 (5名)								
皿回し (6名)										
<p>4. 自己評価をまとめ発表する。(20分)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 自己評価を行い、今日のがんばり、新たにわかったこと、次の自分の課題を発表する。 </div>	<p>振り返りプリントを用意し戻ってきたグループから記入し、工夫点等を発表する。 自分の成長や課題を確認することができる。 【自己の生き方】 今の状態から今後のめあてを確認させる。</p>									
<p>5. 次時は、今までの自分の歩みを振り返ることを伝える。</p>										

1.3. 板書計画

〇〇の わざ名人に 弟子入りし隊

めあて 自分のわざや作品をしょうずにかせいさせよう。

くふう・気をつける
喜んでもらえる
インタビュー・体けん

